



郷土歴史資料館 だより

夏季企画展

「あわらの古墳せいぞろい～福井平野との比較～」開催！

市には、古墳時代（主に3世紀中頃～7世紀前半頃）に有力者の墓として造られた古墳が、数多く存在します。

本展では、はじめに福井平野やその周辺の古墳の歴史をたどります。続いて、出土品を中心に、市内で古墳時代の前期末頃に造られた横垣古墳群や向山古墳群、古墳時代の後期に造られた横山古墳群や清王古墳群などを紹介します。

福井平野の古墳と市内の古墳を比較することで、あわらの古墳の特徴に迫ります。

と き 7月2日（土）～8月28日（日）

ところ 郷土歴史資料館

特別展示室、企画展示ゾーンほか

入場料 無料



▲ 横垣1号墳の調査時の様子

夏季企画展関連講演会「横山古墳群の再検討」

と き 7月3日（日）13時30分～

ところ 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール

講師 佛教大学歴史学部教授 堀 大介 氏

参加費 無料

定員 30人（事前申し込み、6月18日（土）受け付け開始）

夏休みイベント

「ミニ縄文土器づくり体験」参加者大募集！

夏休みの思い出に、ミニ縄文土器づくりをしませんか。縄文人の生活を体験してみましょ。完成した土器は、焼成する当日の午後にお渡しします。

① 造形（粘土で土器を作る）

と き 7月10日（日）

午前の部 10時～12時、
午後の部 13時30分～15時30分
（2部制、内容は両部同じ、どちらかに参加）

ところ 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール

② 焼成（土器を焼く）

と き 8月21日（日）9時～12時

ところ 金津創作の森

対象者 小、中学生（①②両方参加できる人、4年生以下は保護者同伴）

講師 陶芸家 大森 正人 氏
（金津創作の森入居作家）

参加費 200円

定員 16人 ※①のみ各部8人
（事前申し込み、6月18日（土）受け付け開始）



郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）

休館日 月曜日・第4木曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）

問合せ ☎ 73-5158 FAX 73-1038 ✉ maibun@city.awara.lg.jp

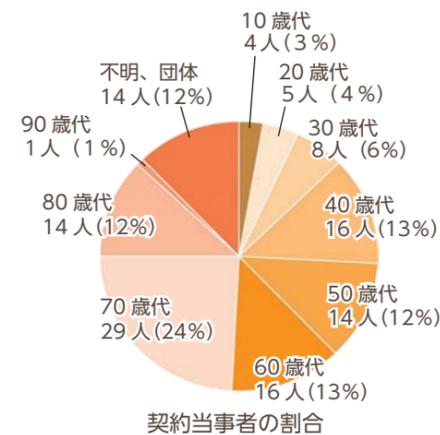
消費者センターだより

令和3年度 消費生活相談の状況

消費者センターが令和3年度に受け付けた相談件数は、121件でした。（前年度比9件減）
通信販売の相談（46件）のうち、インターネット通販の相談が約8割（36件）を占め、年々増加しています。化粧品や健康食品の定期購入のほか、偽サイトに関するものや情報商材などの相談が目立ちました。

【こんな相談がありました】

- ・会員制SNSで、大手百貨店の閉店に伴い、大幅値下げされたブランドのバッグを見つけ注文したが、偽サイトだった。
- ・未成年の子どもが、SNSでダイエットサプリの広告を見て購入したら、定期購入だった。解約したい。
- ・訪問販売で、外壁のリフォーム工事の契約をしたが、よく考えると高額なのでクーリング・オフしたい。
- ・排水管高圧洗浄のお知らせと書かれたチラシがポストに入っていたが、料金が非常に安くて不審に思う。



困ったときは一人で抱え込まず、消費者センターにご相談ください。

問合せ 消費者センター ☎ 73-8017

消費者ホットライン ☎ 188（局番なし）

「泣き寝入りは、いやや（188）！」で覚えてね！



消費者庁 消費者ホットライン 188
イメージキャラクター
「イヤヤン」

ふるさとあわらサポート基金（ふるさと納税）の状況をお知らせします

ふるさとあわらサポート基金は、市の事業を寄付という形で応援していただく制度です。令和3年度は、2億2,787万6,000円の寄付が寄せられました。

このうち、子どもたちの食農教育を推進するために30万7,800円、地域と進める体験推進事業に60万円、市民活動サポート助成事業に105万円、それらに同基金事業を推進するために要した経費を合わせた1億2,250万1,826円を活用させていただきました。

この結果、同基金の令和3年度末残高は、3億6,071万5,000円となりました。ご支援に心からお礼申し上げます。

■ 問合せ 市民協働課 ふるさと納税推進室 ☎ 73-8003

事業の種類	令和3年度				令和2年度までの基金合計	令和3年度末基金総額
	件数	寄付金額	積立額	基金取崩額		
① 芦原温泉駅周辺に活気を取り戻し、快適な都市空間に生まれ変わらせるための事業	1,392件	4,961万3,000円	4,961万3,000円		5,205万8,500円	7,539万2,500円
② ゆのまち情緒にあふれ、にぎわいと華やきを感じさせる温泉街づくりのための事業	631件	2,633万1,000円	2,633万1,000円	推進経費（①～⑦） 1億2,054万4,026円 ※1	5,289万4,000円	6,524万2,000円
③ 子どものことを考えた学校づくりのための事業	1,404件	4,676万6,000円	4,676万6,000円		1,901万153円	4,106万4,153円
④ 北湯湖や竹田川を自然の息吹に満ちた空間によみがえらせるための事業	467件	1,020万3,000円	1,020万3,000円	食農教育（②） 30万7,800円	1,674万4,500円	2,152万3,500円
⑤ 子どもを産み、育てやすい環境と施設づくりのための事業	932件	3,254万9,000円	3,254万9,000円	地域と進める体験推進事業（⑦） 60万円	4,324万4,500円	5,855万5,500円
⑥ 吉崎の歴史・文化、自然、食等を生かしたまちづくりのための事業	183件	331万円	331万円		0円	162万2,000円
⑦ その他あわら市を元気にするために市長が必要と認める事業	1,484件	5,890万4,000円	5,890万4,000円	市民活動サポート助成事業（⑦） 105万円	7,138万3,347円	9,731万5,347円
（福井県共同窓口受入分）	4件	20万円	20万円			
（基金利子など）	—	—	5,826円			
合計	6,497件	2億2,787万6,000円	2億2,788万1,826円	1億2,250万1,826円	2億5,533万5,000円	3億6,071万5,000円

※1 推進経費は寄付金額に応じて取り崩しをしています。

6月は「男女共同参画月間」です（福井県では、6月を「男女共同参画月間」と定めています）



第2次あわら男女共同参画プランについて

～男女が 共に支えあい 共に歩み 共に輝く「あわら」をめざして～



市では、全ての人が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる豊かな活力ある社会を目指しています。そのための具体的な施策を示したものが「あわら男女共同参画プラン」です。プランの基本的な考え方は、次のとおりです。

男女の人権の尊重

あらゆる場面において、男女が人間としての尊厳を保ちながら、自由に生きるための「人権」が保障されることが必要です。

男女の固定的な役割分担意識の改革

「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という先入観を見直し、あらゆる機会を通して、男女共同意識を高めることが必要です。

男女が個性と能力を発揮することによる多様性に富んだ活力ある社会の実現

誰もが個性と能力を発揮して、自分で生き方を選び、利益を受けることができる活力ある社会づくりが必要です。

あらゆる分野での男女のパートナーシップの実現

男女が共に責任を担って、あらゆる分野に参画し、お互いに認め合い、協力し合う意識づくりが必要です。



プランの具体的な施策と実施状況を市のホームページで公表していますのでご覧ください。

◀ 市ホームページ

■ 問合せ 市民協働課 市民活躍推進 G
☎ 73-8003 ✉ kyoudo@city.awara.lg.jp